

平成25年度国立大学図書館協会賞審査結果報告

1. 応募区分 : 図書館活動における功績
2. 対象者 : お茶の水女子大学附属図書館 Tea Pot グループ
3. 件名 : お茶の水女子大学 E-book サービス事業～機関リポジトリを用いた E-book 出版の取組み～
4. 結果 : 採択
5. 理由 :

本件は、お茶の水女子大学のリポジトリを活用して、未公表の学術書を誰もが無料で利用できる E-book として専用サイトから公開した上で、オンデマンド印刷による図書（製本）の有償販売を行うものであり、研究・教育成果としての図書の出版を支援する事業である。

事業の実施にあたっては、事業運営の重要事項を審議する委員会を設け、著者、附属図書館、特定非営利活動法人お茶の水学術事業会の三者が協働する体制を構築している。出版を希望する著者は、委員会で出版の承認を得た後、附属図書館、お茶の水学術事業会双方と利用許諾契約を締結した上で、リポジトリに公開可能な原稿を作成して専用サイトから出版するものである。

お茶の水女子大学のこれら一連の研究教育支援活動は、次の点で「国立大学図書館協会賞選考基準」第4条第1項第1号に該当するものとして国立大学図書館協会賞に推薦する。

- (1) 著者、附属図書館、お茶の水学術事業会という三者が協働して出版する体制を構築することにより、経費や実務の大きな負担増がなく出版事業を実現している。また、出版原稿の作成においては図書館のサポートによる著者の負担の軽減、E-book 専用サイト設置による読者の利便性の向上等、この事業に関わる関係者の便宜を図る工夫が見られる。

事業の企画・運営においては附属図書館が主体的かつ中心的役割を果たしており、大学図書館が出版を支援する活動を行うことに関して、先行性、独創性を有する事例として評価できる。

- (2) E-book による出版公開とオンデマンド印刷による製本の有償販売の仕組みを構築することで、商業ベースでは困難と考えられる図書の出版・流通を可能としており、今後、出版会等を持たない大学においても同様の事業を進める可能性を示していることも成果と認められる。